



川崎区 私たち自身による 地域づくりの取組

ワークショップ 報告会

日時 ● 5月30日(木)14:00~16:00
場所 ● 川崎区役所7階会議室

第1部 平成30年度に実施した4つの地区の取組みについて報告しました!

渡田地区

子育て世代の見守りに 取り組んでいくことにしました!



峯尾会長

子育て世代を暖かく見守る地域について講演会と意見交換を行いました。

WORKSHOP~みんなの意見~

【こんなことしてほしい】

- お互いを気遣う声かけ
- 子どもの居場所づくり
- 自由に遊べる場が欲しい

【これからできそうなこと】

- 子どもたちの見守りネットワークを作る
- 世代間交流

→ 妊婦さんへの声かけから始める、さりげない見守り



大師第1 地区

高齢者お茶飲みサロン、 子ども食堂を立ち上げました!



清水さん

青山会長

荻原さん

安心して暮らせる居場所について講演会と意見交換を行いました。

WORKSHOP~みんなの意見~

【高齢者部門】

- 行きたいときにいつでも行けて誰とでも気軽に話ができる場があるとよい
- 自分のことは自分でやる参加者が主体となった取組

→ 高齢者お茶飲みサロンの試行実施



高齢者
部門



青少年
部門

【青少年部門】

- 子ども本人が楽しめて高齢者と交流ができる場所があるとよい。
- 将来地域に帰って来られるように小学生から未来の担い手を育てる

→ 子ども食堂の試行実施

大師第4 中瀬地区

ちょっと気になる方への見守り を実施しました！

渡邊会長



安心して暮らせる地域にするために見守りの実施や勉強会、意見交換を行いました。



WORKSHOP～みんなの意見～

【個別のアプローチ】

●地域のキーパーソンとなる方と連携してちょっと気になる方への見守りを実施



【集団のアプローチ】

<人生100年時代どういう準備が必要か、健康を維持するためにやりたいこと>

- 自分自身の健康維持、自立した生活
- 趣味の集まり ●多世代の交流など

小田地区

あいさつをテーマに 取り組んでいくことにしました！

私たちのまちをもっと住みやすい街にするために講演会と意見交換を行いました。

WORKSHOP～みんなの意見～

【地域の課題として感じていること】

●世代間のつながりがうすくなっている など

→ きっかけとして、まずは「あいさつ」を特別なこととして取り組む！

【あいさつに取り組むにあたって】

- 子どもに不審者と警戒されないか心配
- 顔見知りになるきっかけがあるとよい



山崎さん

陶山会長

庄司さん



→ あいさつイベントの開催やグッズの作成

第2部

地域のことについて 意見交換しました！

◆この報告会には川崎区に住んでいる人や地域のために活動中の人、地域の皆さんを支援する人、行政の関係者などさまざまな立場の方々にお集まりいただきました。

◆それぞれの立場から考えを出し合い、次のステップへ向けて持ち帰ろう、そんな集まりになったのではないのでしょうか。

報告会第2部で
コーディネーターを務められた
共育ひろば 主宰
牧岡 英夫さん



参加者からの質問

Q. 見守り活動の現在の問題点は？

A. なかなか「会ってもらえない」などの課題があり、それを克服するために粘り強い継続が必要だと思っています。

Q. 地区社協や町内会との関係は？

A. 地域にはさまざまな役割を担う人がいますが、なんでも連携し協力し合って行っています。

Q. 人材をどのように育てていますか？

A. 成り手のいない現状で正直困っています。定年前後の世代に声をかけたり、対応策を考えているところです。

参加者コメント

施設職員としての立場だけでなく、一人の担い手として地域との向き合い方を真剣に考えていきたいです。

介護老人福祉施設桜寿園の
仁科さん



地域の人が気軽に集まれる、よりオープンな雰囲気の居場所を提供しています。

まちの縁側として
活動している工藤さん



アンケートから

- 地域づくりがこんなにも広がってきているのを実感しました。
- 自分が住んでいる地域に何が出来るか考えたいと思います。
- 他の地区の報告を聞いていろいろと勉強になりました。

ぽかぽか通信
Poka-Poka info

川崎区地域保健福祉かわら版 vol.26 (2019年7月発行)

本紙は川崎区地域福祉計画※に位置づけられている情報発信の取組として作成しています。

（※「川崎区地域福祉計画」とは… 住み慣れた川崎区で誰もが自分らしく安心して暮らすために、住民、団体、組織、企業、行政などが連携した地域づくりや支え合いをしていくための計画です。）